指導事項を明確にした小学校国語科の授業づくり（１２月）

国語科では「教材の内容を詳細に教えること」ではなく、「言葉で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」が大切です。

今月の指導のポイントは・・・

目的に応じていろいろな本や文章を読み、感想や考えをもつこと

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
C読むこと	カ　楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。 ※エ、オも関連	カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。 ※ウ、エ、オも関連	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。 ※イ、エ、オも関連
教材	おとうとねずみチロ（1年） かさこじぞう（2年）	はりねずみと金貨（3年） 世界一美しいぼくの村（4年）	手塚治虫（5年） ヒロシマのうた（6年）

「目的に応じた読書」ができるよう、教科書教材ではC読むこと（2）の指導事項をもとに、右のような言語活動が設定されています。

いろいろなお話を読む（1年）
日本の物語を紹介する（2年）
世界の物語を紹介する（3年）
読書会をする（4年）
感想文を書く（5年）
本を推薦する（6年）

「〇〇を書く」という言語活動もありますが、あくまでもC読むことの観点で評価をすることが大切なのですね。

重要！

言語活動が目的にならないよう、その言語活動を通してどのような国語の力を付けるのかを明確にしておくことが大切です。

例「読書新聞」でお気に入りの物語を説明しよう（四年）

柱となる言語活動

言語活動のそれぞれのパーツ

言語活動のパーツを遂行する能力

読書新聞

こんなストーリーです（あらすじ）
目的や必要に応じて、文章を引用したり要約したりする力
内容C（1）エ

ここがおすすめ！

①「主人公」の成長
登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読む力
内容C（1）ウ

②「まわりの様子や情景」の描写
情景などについて、叙述を基に想像して読む力
内容C（1）ウ

作者紹介

①「シリーズ紹介」

②「おすすめの本」紹介
目的に応じていろいろな本や文章を選んで読む力
内容C（1）カ

この本へのみんながらの感想・質問コーナー
文章を読んで一人一人の感じ方について違いがあることに気付く力
内容C（1）オ

社説
文章を読んで自分の考えをもつ力
内容C（1）オ

言語活動を行いながら、いろいろな作品を「繰り返し読む」「比べて読む」という過程を大切にしましょう。